

12 月終業礼拝

奨励 「神様の喜び」

聖書 ルカによる福音書 10 章 25-37 節

25 すると、ある律法の専門家が立ち上がり、イエスを試そうとして言った。「先生、何をしたら、永遠の命を受け継ぐことができるでしょうか。」 26 イエスが、「律法には何と書いてあるか。あなたはそれをどう読んでいるか」と言われると、27 彼は答えた。「『心を尽くし、精神を尽くし、力を尽くし、思いを尽くして、あなたの神である主を愛しなさい、また、隣人を自分のように愛しなさい』とあります。」 28 イエスは言われた。「正しい答えだ。それを実行しなさい。そうすれば命が得られる。」 29 節 しかし、彼は自分を正当化しようとして、「では、わたしの隣人とはだれですか」と言った。 30 イエスはお答えになった。「ある人がエルサレムからエリコへ下って行く途中、追いはぎに襲われた。追いはぎはその人の服をはぎ取り、殴りつけ、半殺しにしたまま立ち去った。 31 ある祭司がたまたまその道を下って来たが、その人を見ると、道の向こう側を通って行った。 32 同じように、レビ人もその場所にやって来たが、その人を見ると、道の向こう側を通って行った。 33 ところが、旅をしていたあるサマリア人は、そばに来ると、その人を見て憐れに思い、 34 近寄って傷に油とぶどう酒を注ぎ、包帯をして、自分のろばに乗せ、宿屋に連れて行って介抱した。 35 そして、翌日になると、デナリオン銀貨二枚を取り出し、宿屋の主人に渡して言った。『この人を介抱してください。費用がもっとかかったら、帰りがけに払います。』 36 さて、あなたはこの三人の中で、だれが追いはぎに襲われた人の隣人になったと思うか。」 37 律法の専門家は言った。「その人を助けた人です。」そこで、イエスは言われた。「行って、あなたも同じようにしなさい。」

神様の喜び

イエス様は神様を愛し、隣人を自分のように愛することを実行しなさいと言われました。そして追いはぎに襲われた人を助けたサマリア人のことを話しました。その最後の方に次のようにあります。

そして、翌日になると、デナリオン銀貨二枚を取り出し、宿屋の主人に渡して言った。「この人を介抱して下さい。費用がもっとかかったら、帰りがけに払います。」

さて「帰りがけに」という言葉が気になります。つまり彼はどこかへ行く途中だった。何か予定があったのではないのでしょうか。そして「翌日になると」とありましたから、すでに一日遅れています。そして帰りにも宿屋に寄るということです。帰り道も遅れるでしょう。隣人を自分のように愛するというのは人生という旅路を同伴すること、時間を共にすることです。

そしてもうひとつ。このサマリア人と共に追いはぎに襲われた人を助けた人は他に誰もいなかったことです。彼はひとりで助けました。それを知っていたのは宿屋の主人だけです。彼は誰からも評価されていません。イエス自身もサマリア人については何も言っていません。ただ最後に「誰が追いはぎに襲われた人の隣人になったと思うか」と問いかけているだけです。隣人を自分のように愛するというのは、他者がどう思うか、どう評価しているかとは関係がありません。

このように黙想しながら、私は皆さんの歩みをふり返ってみました。

夏休み明け、高校3年生は卒業後の進路へ向けて本格的にスタートしました。そして英和祭、讃美歌コンクール、学校クリスマスと進むにつれて、そのリーダーシップは高校2年生から1年生へと少しずつバトンタッチしているように感じました。時の流れの速さを感じ、今、たくましく成長されていく皆さんを拝見して、私は皆さんに敬意と誇りを感じています。

学校クリスマスの近づく頃、聖歌隊の歌声が段々と大きく美しくなり、ハンドベルの音色が4月のメイプルコンサートの時とは格段に上達して校内に響き渡り、ページェント（降誕劇）を演じる出演者の皆さんの台詞を聞きながら感

動しました。そして舞台裏で来校される方々を迎えるため黙々と準備をされていた皆さん、当日終了してからも最後まで後片付けをしていた皆さん、行動を共にされた先生の姿を拝見しました。

そこには人に言えない悩みや苦勞もあったと思います。しかし互いに励ましあい、共に感謝讚美していく喜びを、皆さんが隣人を自分のように愛している姿を神様は喜んでおられます。その姿は確実に次の英和生へとつながっていくことでしょう。

年明け1月から後期の後半が始まります。わずかの期間ですが在校生は進級へ向い、中学3年生は高校への進学、そしてセンター試験、大学一般受験の控えている高校3年生がいます。さらに英和女学院を目指して入学試験を目前にしている小学生、中学生もいま準備に励んでいます。

昨日は冬至でした。今日から北半球ではこれから一日、一日と日が長くなってきます。これからも日々神様の光に照らされて、神様に選ばれ、集められた姉妹として互いに喜び、励まし、祈り、感謝して歩まれることを楽しみにしています。

しばらく黙祷しましょう。

祈禱 祈りましょう

私たちを愛し、励まされる主よ。

あなたは追いはぎに襲われた人を助けたサマリア人を通して、神様を愛し、隣人を自分のように愛する道を示し、あなたが愛する英和女学院の生徒ひとり一人を祝福されています。

どうか冬休みの間もすべてをあなたに委ね、あなたの祝福のうちに歩ませて下さい。主イエス・キリストの御名によってお願い致します。アーメン